

広がる自立の輪

～地域福祉×地元企業×就労支援～

— Recruit —

地域の「働く」を支える パートナー企業を募集中

皆さんの力で、誰もが役割を持って輝ける地域社会をつくりませんか？きづきでは、就労支援にご協力いただける企業、家賃が安い住宅の賃貸にご協力いただける企業を必要としています。生活に困りごとを抱える人を支えるため、皆さんからのご連絡をお待ちしています!!



きづきの皆さんが親身になつて相談を聞いていただけたので、良い巡り合わせができました。また、就職後も家計の見直しやサポートがあり、きづきへ相談できて良かったです。なかなか一歩が踏み出せない人もいると思いますが、その一歩を踏み出せると、良いつながりや巡り合わせがくると思います。

制度を利用した感想は？また、利用を考えている人へどのように声を掛けたいですか？

いろいろと相談して、支援していただけるということを知ることができたので、抵抗感はありませんでした。

サポートを受けることに対する抵抗はありませんでしたか？

良いとります。

私はその時、子どもサポートを受けてどうでしたか？

以前住んでいた自治体から糸満市へ引っ越す際、仕事を辞め、ハローワークで仕事を探しいました。しかし、なかなか仕事が見つからず、家賃の支払いなどで悩んでいました。そのような時に、きづきの存在を知り、相談しました。

制度を利用したきっかけは？

何かサポートしてもられないかと思い、市のホームページを確認しました。ホームページでは制度の説明や「サポートセンターきづき」や住宅確保給付金制度があると記載されて、その制度を知ることができました。

採用について不安はありませんか？

もが4人いて、家庭の時間をちゃんと作れる仕事をハローワークで探していました。きづきでは、パートナー企業へ私の希望する条件を相談していただきました。きづきと、そのことで宮平乳業へ就職ができました。

**社会福祉法人 糸満市社会福祉協議会
糸満市くらしのサポートセンター きづき**
潮崎町1丁目1番地(市役所5階)
8時30分～17時15分(土日・祝日を除く)
(来所には事前予約が必要です)
TEL・FAX: 098-840-8182
kiduki@shakyo.itoman.okinawa.jp

「相談に行く時間がない」など、来所で相談することが困難な人に対して、LINEで24時間相談を受け付けています。

二次元コードを読み取って
相談してニヤ!



LINE@で気軽に相談！

相談者の中には、労働に対して不安な人もいると思うので、きづきのような専門機関があると張ってくれています。

今後もこの制度へ協力するため、制度への要望はありませんか？

制度を知ることができますか？

活困窮者自立支援制度に基づいて開設された「糸満市くらしのサポートセンターきづき」。広報いとまん3月号の特集から、多くの相談が寄せられており、相談された皆さんには、着実に自立への一步を踏み出しています。

今回は、実際に相談から支援につながった就労者と、その支援に協力していただいた「パートナー企業」へお話を伺いました。

